

施政方針に掲げる3つの布石

活力の創出

将来に渡る人とまちの活力の創出

病院の移転に向けた建設地の決定および計画策定を行い、また大学誘致の実現に努めます。



高校生1日ナース体験



島田市民病院

交流の促進

地域資源を活かした地域内外の交流促進

各種交流事業への運営支援や施設整備を行い、地域づくりと連動した活力の創出に努めます。



島田大祭(帯まつり)



しまだ大井川マラソン in リバティ

まちの建設

交通基盤の整備および土地利用

主要国道の整備促進を図るとともに、新東名島田金谷インターチェンジ周辺の有効な土地利用を検討します。



新東名島田金谷インターチェンジ



島田金谷バイパス

平成 25 年度 市の予算

市議会2月定例会において、平成25年度当初予算が原案どおり可決されました。一般会計、特別会計および企業会計予算の総額が717億6,092万円となり、前年度と比較して19億5,697万円(2.8%)の増となりました。

健全な財政運営を念頭に、最終年度となる総合計画前期基本計画の集大成として「まちの建設」「交流の促進」「活力の創出」を重点とした諸施策を推進し、活力あふれるまちづくりを進めます。

財政課 ☎ 36-7123

市長施政方針

国難とも言うべき東日本大震災の発生から2年が経とうとしています。当市は、全国に先駆けて災害廃棄物(木くず)の広域処理を行ってまいりましたが、経験の無い状況下での決断に、ご理解いただいた皆さんに厚くお礼申し上げます。全国からの感謝と激励の声を糧に、今後も復興支援に努めていきます。

旧川根町との合併を契機に、都市戦略として「大井川を軸とした地域づくり」を提唱してから5年が経過しました。この間、総合計画に掲げる将来都市像「人と産業・文化の交流拠点、水と緑の健康都市」の具現化に努めてきました。

平成25年度は前期基本計画の最終年度となるため、これまでの市政の経験と施策の積み重ねを生かし、更なる発展に向けた施策を展開し、「新たな時代への布石」としていきます。

主な布石の一つ目は、都市の成長力を高め、産業・経済の活力の創出につなげる、交通基盤の整備と土地利用です。具体的には、国道1号島田金谷バイパスの4車線化と国道473号バイパスの整備促進を図るとともに、高速交通の結節点を生かし、新東名島田金谷インターチェンジ周辺の有効な土地利用を検討していきます。

また、富士山静岡空港周辺についても、県の空港ティールーガーデンシティ構

想に基づき、真に交流拠点となる利活用策の具体化促進に努めます。

二つ目は、固有の地域資源を活かした地域内外の交流促進です。平成25年度は、大井川大花火大会、SLフェスタ2013、しまだ大井川マラソン in リバティに加え、富士山静岡空港周辺を会場とする世界お茶まつり、島田大祭、さらには国際陶芸フェスティバルが開催されます。この機会に国内外を問わず、広く市の歴史・産業・文化の魅力を発信し、人・もの・情報の大交流を喚起し、地域づくりと連動した活力の創出に努めます。

このほか、温泉を生かした交流拠点として川根温泉宿泊施設の整備など、大井川流域での宿泊滞在機能の強化を図っていきます。

三つ目は、将来に渡る人とまちの活力の創出に向けた重要な要素となる新病院建設と大学誘致です。新病院建設は、地域医療の増進と総合的なまちづくりの観点から、移転に向けた建設地の決定と計画策定への取り組みを図ります。

また、新病院建設と一体的に取り組む大学誘致は、実現に向けた協議を進め、大学との交流に加え、産学官の連携による研究開発の準備を進めます。

私の願いは、活力に満ちた島田市を次世代に引き継いでいくことです。島田市の更なる発展に向けた道筋を示し、その実現のための施策へ果敢にチャレンジし、全力で市政に邁進していきます。



給食交流会

人を育て、歴史を大切に
新しい文化を創造するまち

- 学校給食共同調理場整備事業 4 億 7,178 万円
- (新) 小中学校屋内運動場の天井構造物耐震化事業(4校) 972 万円
- 田代の郷陸上競技場整備事業 1 億 5,000 万円
- (新) お茶の郷博物館改修事業 4,881 万円
- (新) 旧笹間中学校活用事業 2,220 万円
- (新) 第2回国際陶芸フェスティバル事業費補助金(笹間地区) 300 万円

活力

文化

市民と行政がともに造る、活力に満ちたまち

- SLフェスタ運営経費 550 万円
- 家族と地域の時間づくり推進事業 154 万円
- (新) 総合計画基本計画(後期) 策定事業 740 万円
- 町内会組織助成金(公会堂・防犯灯の整備など) 7,100 万円
- 都市提携・交流事業(中国湖州市スイス連邦ブリエンツ町など) 914 万円
- (新) 農林家民宿開業者への助成事業 100 万円

SL フェスタ 2012



動物ふれあい事業

だれもが健やかで幸せに暮らせる
健康・福祉のまち

- 自立支援介護/訓練等給付事業(障害福祉サービス費) 11 億 4,145 万円
- 児童手当扶助費 17 億 128 万円
- こども医療扶助費 2 億 7,654 万円
- 特定不妊治療費助成事業 2,562 万円
- (新) 認定こども園施設整備助成事業 2 億 3,656 万円
- 予防接種・個別接種事業 3 億 1,513 万円
- 病院事業会計への繰出金 9 億 2,267 万円

自然

健康

自然と共生する資源循環型のまち

- 太陽エネルギー利用促進事業(太陽光発電システム設置者への補助金) 2,000 万円
- ごみ減量事業・リサイクル事業(ごみ・資源収集運搬業務) 2 億 1,274 万円
- 田代環境プラザ ガス化溶融施設管理運営経費 7 億 4,900 万円
- 合併処理浄化槽設置事業への補助金(金額を見直し、補助件数を増加) 1 億 3,809 万円

ごみのリサイクル



総合防災訓練

市民が安心・安全に暮らせるまち

- 防災対策事務費(県の第4次地震被害想定を踏まえた防災ガイドブック作成など) 430 万円
- 同報無線等通信機器整備事業(往還下への同報無線子局新設など) 1,009 万円
- 大規模地震等の災害に備えるための施設資機材整備事業 1,713 万円
- 木造住宅耐震補強助成事業 3,700 万円
- 消防団消防自動車更新事業(相賀、竹下) 3,718 万円

産業

安心

産業がいきいきと活発なまち

- (新) 農業基盤整備促進事業(茶の^{ぼうそ}防霜ファン更新など) 6 億 9,888 万円
- 木材需要促進事業 3,034 万円
- (新) 獣肉加工施設建設事業 2,000 万円
- 中小企業等地域産業振興事業費補助金 800 万円
- 企業立地促進事業費補助金 3,568 万円
- 島田市観光協会補助金 5,960 万円
- 川根温泉宿泊施設建設事業 11 億 5,154 万円

(仮称) 川根温泉ホテル完成図



平成 25 年度 の主要事業

平成 25 年度予算は、総合計画の施策の大綱に掲げる7つの柱をもとに、事業の重点化を図り、健全な財政運営と住民ニーズに沿った満足度の高いサービスを目指して、予算編成に取り組みました。平成 25 年度当初予算に計上した主要事業について、7つの柱ごとに紹介します。

7つの柱

交流

都市生活基盤が充実し、ひとやもの、
情報が活発に交流するまち

- 横井中央線整備事業(大津通・中河町工区) 4 億 368 万円
- 東町御請線整備事業 8 億 555 万円
- JR金谷駅バリアフリー対策事業 3,619 万円
- (新) 地域おこし協力隊派遣事業(都市部から中山間地への移住者を公募し、地域活性化事業を行う) 192 万円
- (新) 中山間地域交流促進事業(地域情報誌の発行など) 480 万円

大津通



用語解説

【歳出の部】(目的別分類)

- 民生費／児童、高齢者、障害者福祉などの経費
- 公債費／借入金(市債)の返済金と利子の支払い
- 教育費／学校教育や生涯学習などの経費
- 土木費／道路、河川、公園、市営住宅の整備などの経費
- 衛生費／保健活動やごみ処理などの経費
- 総務費／電算システムや戸籍・住民登録、庁舎の維持管理などの経費
- その他の支出／議会費、労働費、農林業費、商工費、消防費、災害復旧費など

【歳出の部】(性質別分類)

- 扶助費／生活扶助、教育扶助などの経費
- 物件費／施設の保守管理、一般事務経費
- 普通建設事業費／道路の新設、改良や施設の新増築などの経費
- 災害復旧事業費／台風などにより被害を受けた施設の復旧のための経費
- 繰出金／一般会計から特別会計、企業会計への負担金や補助金など

【歳入の部】

- 自主財源／市が独自に収入するもの
- 依存財源／国・県などから交付されるもの
- 市税／市民税、固定資産税など市に納められた税金
- 分担金および負担金／保育所入園者の負担金など
- 繰入金／基金の取り崩しや他会計から入れるお金
- 地方交付税／市町村の実状に合わせて国から交付されるもの
- 市債／市が借り入れるお金
- 国庫(県)支出金／国(県)からの補助金、負担金など
- 地方譲与税／市町村に一律的に客観的基準により、国から配分されるもの

平成25年度 一般会計当初予算 361億8,800万円 前年対比 9億9,500万円(2.8%)の増

市の会計の構成

市の会計は、一般会計と8つの特別会計、2つの企業会計で構成されています。一般会計は、まちづくりや福祉、教育など、全般的な市の事業を行うための会計です。特別会計は、保険料など特定の収入で事業を行う会計で、事業の収支を明確にするために一般会計と経理を区分して、国民健康保険事業など8つの会計を設けています。企業会計は、事業収入により公共の利益を目的に経営する事業の会計で、水道事業と病院事業に企業会計を設けています。

一般会計当初予算

【歳出】

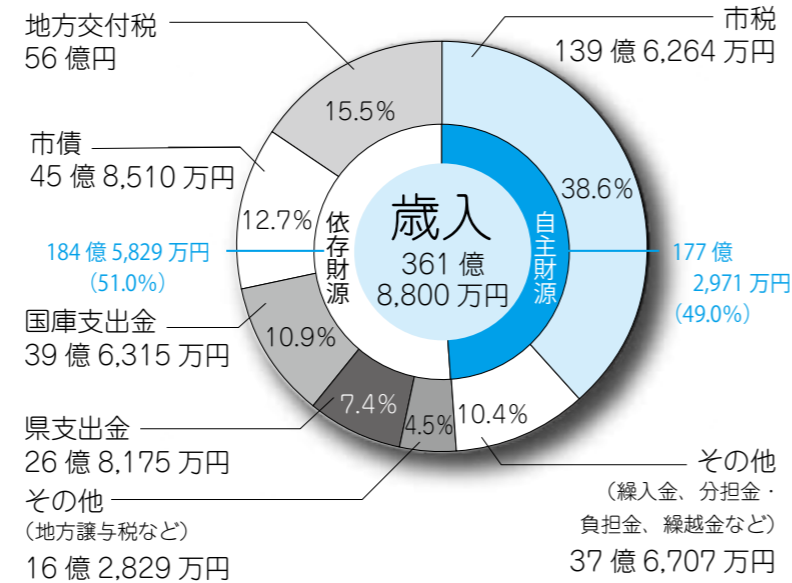
歳出の約3割を占める民生費については、社会保障にかかる経費の増加などに伴い、前年度に比べて3億3,532万円(33%)の増となっています。また、その他のうち商工費は、川根温泉宿泊施設建設事業(11億5,154万円)などにより、前年度に比べて12億7,194万円(199.9%)の増となっています。なお、土木費については、中心市街地交流拠点施設整備事業、大草住宅建設事業の終了などにより、前年度に比べて16億4,104万円(30.3%)の減となっています。

減となっています。

【歳入】

主な収入である自主財源の市税については、引き続き景気低迷の影響が懸念され、個人・法人市民税は、前年度に比べて732.1万円(1.3%)の減を見込んでいます。固定資産税については、企業の新規進出などにより1億1,787万円(1.8%)の増を、たばこ税については、税制改正により807.4万円(16.1%)の増を見込んでいます。依存財源である地方交付税は、前年度に比べて200.0万円(0.4%)の減を見込んでいます。また、国庫支出金、分担金および負担金については、農業基盤整備促進事業分について、それぞれ3億5,227万円、3億4,661万円を計上しています。

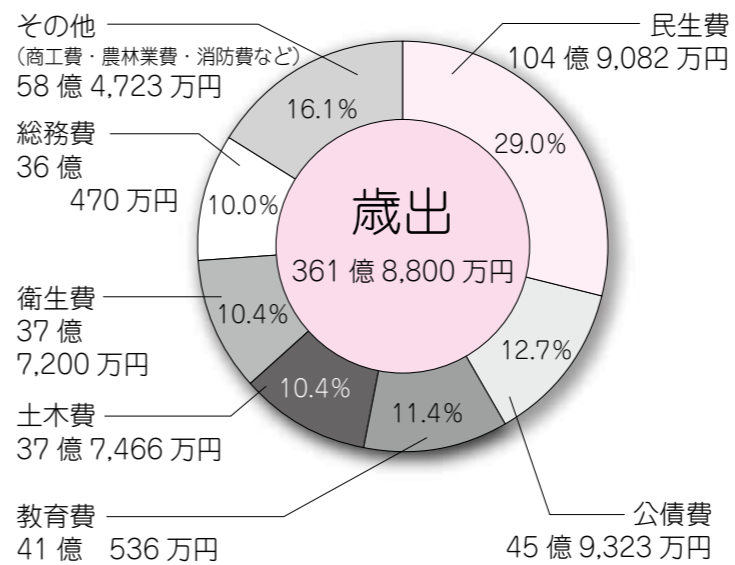
歳入の内訳(構成比%)



市債年度末残高見込み

区分	残高見込額		増減率
	平成24年度末	平成25年度末	
一般会計	432億6,802万円	439億4,209万円	1.6%
国民健康保険事業	2億円	1億6,000万円	△20.0%
簡易水道事業	2億3,213万円	2億2,324万円	△3.8%
公共下水道事業	44億9,202万円	43億6,611万円	△2.8%
水道事業	14億1,857万円	14億6,014万円	2.9%
病院事業	29億3,212万円	25億5,728万円	△12.8%
合計	525億4,286万円	527億886万円	0.3%

歳出の内訳(構成比%)



歳出の性質別構成比率

性質	費目	構成比率
消費的経費 61.8%	人件費	19.1%
	扶助費	16.6%
	物件費	16.4%
	補助費等	8.9%
	維持補修費	0.8%
投資的経費 17.6%	普通建設事業費	17.5%
	災害普及事業費	0.1%
その他の経費 20.5%	公債費	12.7%
	繰出金	6.7%
	投資及び出資金等	1.1%
予備費 0.1%		0.1%

会計別予算額

会計名	予算額	前年度対比
I 一般会計	361億8,800万円	2.8%
II 特別会計	205億5,715万円	5.7%
国民健康保険事業	102億1,109万円	5.5%
簡易水道事業	1億1,385万円	△17.6%
土地取得事業	5億2,572万円	4.0%
休日急患診療事業	1,403万円	4.1%
公共下水道事業	8億9,857万円	0.4%
介護保険事業	77億1,864万円	9.0%
介護サービス事業	6,162万円	△4.6%
後期高齢者医療事業	10億1,363万円	△5.6%
III 企業会計	150億1,577万円	△0.9%
水道事業	14億7,029万円	△1.4%
病院事業	135億4,548万円	△0.9%
合計	717億6,092万円	2.8%

※ 端数処理をしているため、表内不整合箇所があります。